

令和5年度第2回教育委員会定例会 会議録

- ◇ **開催年月日** 令和5年5月11日（木） 16時00分開会
16時40分閉会

- ◇ **開催の場所** 鹿児島市立科学館企画展示室

◇ **出席者**

教育長	原之園 哲哉
委員	津曲 貞利
委員	小栗 有子
委員	立元 千帆
委員	前田 圭子

◇ **説明のため出席した者の職氏名**

管理部長	小村 真二	教育部長	佐土原 隆
総務課長	九反 大介	学校整備室長	岩坪 秀樹
施設課長	久保 浩一	文化財課長	圖師 みゆき
美術館副館長	池田 雅光	図書館副館長	小城 裕子
学務課長	鶴田 紋太郎	学校教育課長	中村 武司
学校ICT推進 ^{ツカ} 主幹	池田 伸一	保健体育課長	池田 隆
青少年課長	吉元 利裕	生涯学習課長	西國原 学
少年自然の家所長	唐仁原 宏樹	中央学校給食センター所長	濱田 有希

◇ **書記**

総務課主幹	黒木 浩幸	総務課主査	上堀内 啓太
-------	-------	-------	--------

◇ 議事日程

- 1 開 会
- 2 会議成立の宣言
- 3 会議録署名者の指名
- 4 会議の公開等について
- 5 議 案
 - 定第13号議案 代決処分の承認を求める件
[鹿児島市教育委員会事務局等の職員の任免の件]
 - 定第14号議案 鹿児島市公民館運営審議会委員の委嘱の件
- 6 報告事項
 - (1) 市立科学館展示リニューアルの基本計画について
 - (2) 令和6年度使用義務教育諸学校教科用図書の採択の方法について
- 7 その他
- 8 閉 会

◇ 会議要旨

1 開会

教育長 ただいまから、令和5年度第2回教育委員会定例会を開会します。

2 会議成立の宣言

教育長 本日は全員出席し、定足数に達していますので、会議は成立しております。
本日の議事日程は、お手元に配付したとおりです。

3 会議録署名者の指名

教育長 本日の会議録署名は、小栗委員と私が行います。

4 会議の公開等について

教育長 会議の非公開についてですが、本日審議する定第14号議案は今後の人事・
人選等に係る案件、報告事項(2)は意思形成過程の案件ですので、非公開で
傍聴を禁止する取扱いとしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なしの声)

教育長 ご異議もないので、そのように取り扱います。

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

5 議案

定第14号議案 鹿児島市公民館運営審議会委員の委嘱の件

原案可決

【 本 議 案 は 非 公 開 】

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

6 報告事項

(2) 令和6年度使用義務教育諸学校教科用図書採択の方法について

【 本 報 告 は 非 公 開 】

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

5 議案

定第13号議案 代決処分の承認を求める件

〔鹿児島市教育委員会事務局等の職員の任免の件〕

承認

教育長 定第13号議案について、総務課長、説明をお願いします。

事務局（総務課長） 1 ページをご覧ください。定第13号議案、代決処分の承認を求める件は、鹿児島市教育委員会の事務局及び教育機関の職員の任免について、参照にあるように教育委員会事務委任等規則第4条第1項の規定に基づき、代決しましたので同条第2項の規定により、これを報告し、教育委員会の承認を得ようとするものです。内容については2ページをご覧ください。5月1日付の人事異動1名です。説明は以上です。

教育長 ただ今の説明につきまして、何かご質疑等はございませんか。

（なしの声あり）

教育長 なければ、定第13号議案につきましては原案どおりとすることでご異議ございませんか。

（異議なしの声）

教育長 ご異議もないので、本件は原案どおりといたします。

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

6 報告事項

(1) 市立科学館展示リニューアルの基本計画について

教育長 報告事項（1）について総務課長、説明をお願いします。

事務局（総務課長） 報告事項関係資料（1）をご覧ください。市立科学館展示リニューアルの基本計画についてご報告します。「1のリニューアルの概要」ですが、前回の展示物のリニューアルから約10年が経過し、老朽化等が進み、また科学技術の進歩等により、展示内容が時代にそぐわなくなっているものもあることから、検討委員会を設置し、展示物のリニューアルを行うもので、5年度は、その基本計画を作成します。「2のリニューアルのコンセプト等」については、4月に開催した検討委員会においてご意見をいただき、①の展示リニューアルにあたってのコンセプトとして、「体感型・参加体験型の展示を充実させ、かつ独自性の高い展示手法を盛り込む」、「デジタル技術を活用した展示手法を盛り込む」、「未就学児から高校生等まで幅広く楽しむことができる施設とする」、「企業や大学等と連携した地域に開かれた施設とする」、「鹿児島ならではの展示、火山・宇宙開発・海などを盛り込む」としました。②のコンセプトに基づく具体的な展示イメージとしては、「AIやVR、ロボティクスなどのデジタル技術等を活用した最先端技術を体験できる展示」や、「展示協力企業等の参

加しやすい出展展示」などとなりました。「3の今後のスケジュール」については、5年度の計画として、基本計画の作成及び計画作成のための検討委員会を開催し、検討委員会でいただいた意見と11月に予定しているパブリックコメントによる市民からの意見を反映させ、基本計画を策定する予定としています。全体のスケジュール案としては、6年度に基本実施設計を行い、7年度から12年度に設置工事を行います。7年度は休館を伴う大規模展示を中心に7割程度を更新し、その後の8年度から12年度までに残りの展示物を更新し、毎年何かしらの展示物が更新されるようにしたいと考えています。基本計画については、改めて定例会でご報告したいと思っております。「4の鹿児島市立科学館展示リニューアル検討委員会」については、今回のリニューアルでは、デジタル技術の活用や企業等との連携を計画していることから、①の委員の通り、理科教育専門の方に加え、デジタルやICT、地域企業に詳しい方にも就任いただいております。今後も委員のご意見をいただきながら、基本計画等の検討を進めていきます。第1回検討委員会での主な意見では、「AIやVR、ロボティクスやeスポーツ、また鹿児島特有の分野の産業も取り入れる」、「楽しんで終わりではなく、何かを学び取ってもらおう」などのご意見をいただいております。説明は以上です。

教育長 ただ今の説明について、何かご質疑はございませんか。

委員 一つ事実確認ですが、11月に基本計画についてのパブリックコメントの実施とありますが、そのことと5月の企画提案競技による業者選定との関係を教えてください。

事務局（総務課長） 5月31日に業者選定を行い、基本計画を策定する業者を選定します。その後、基本計画案として9月下旬、10月下旬にそれぞれ委員の意見をいただいて修正し、最終的に市民に基本計画案をお示しして、市民の意見をいただいた上で最終的な計画案を策定したいと考えています。

委員 今プロセスの一部しか報告をいただけてないので教えてください。今回の第1回の検討委員会、あるいは検討委員は、基本的に提供する側、つまり、館を管理、運営する側だと思いますが、館を利用する側の利用実態、これまでの実績や課題などがどこにあるのか。それに加えて、利用者のニーズなどの把握はどの段階で行うのか。そして、それをどういう形でこの計画に反映するのか。全体スケジュールの中でどういう位置付けになるのか教えてください。

事務局（総務課長） 委員には科学館館長も入っており、公募市民については、若い市民に入らせていただいております。また、計画案を策定した段階において、市民意見を取り入れるためにパブリックコメントを行いますので、その際に課題等を把握できればと考えています。

委員 大切なことは利用者の生の声をどう反映できるのかと思います。スケジュールもあると思いますが、参考になるのは桜島の小・中学校のプロセスではないかと思います。時代にそぐわなくなっていると書かれている点は、必要なことだと思いますが、どういう形で提供していけばいいのかについては、利用者の観点に立つ必要があります。対象者は、子どもたちを想定されていると思いま

すが、当然そこには保護者もいて、大人も利用できることを考えると、もっと多様な人の意見やアイデアを聞く機会を入れた方が結果として、ここで書かれていることが実現すると思います。期間は限られていると思いますが、そういったワークショップを開催するなど、是非そういった機会を持てばもっと市民にも周知されていき、作りながら皆さんに関心を持ってもらえます。そのため、是非プロセスをぜひ見直していただきたいと思います。

事務局（総務課長） 市民意見を取り入れる手法については検討し、可能な限り取り入れる方策を考えていきたいと思っています。

委員 ぜひご報告いただきたいと思っています。

教育長 そういう形をお願いします。他にございませんか。

委員 市立科学館展示リニューアルに大変期待をしています。この10年で何が変わったのかを織り込むことが大切だと思っています。大きく変わったのは、デジタルトランスフォーメーションという時代になってきたこと、再生可能エネルギーに対する取り組みが議論中だということ、災害への備えということ、そういったものが重要になってきた。それから、本県、本市が抱える問題として人口減少の時代に入ってきて、全ての年代についてケアをできるような地域、また地域支援の魅力を作ることなどを入れていく必要があるのと思っています。特に今、文理混合の人材育成として連帯化を進めていくなかで科学館の意味は非常に大きいものがあると思っています。是非、今までのものよりは、10年を考えた時には、子供たちや青少年たちがデジタルとリアルをしっかりととらえながらハイブリッド型の人材になっていくようなものが作れないかという視点が必要です。あるいは、地域の魅力をどうやって世界に発信していくか考えた場合に、地域資源の啓発などをベースに入れる。SDGsは確かに入っていますが、例えば市民運動的に言えば再生可能エネルギーやサーキュラーエコノミーなど、そういった市民啓発型というものが必要なのかと思っています。災害への備えでは、火山も大事ですが地震や津波、台風など、今非常に温暖化で課題になっているものがあります。そういったものの実態とそれにどう備えていくのか、何を伝えたいのかという意思形成をぜひ委員会で進めていただきたいと思っています。そういった取り組みが、結果的には委託業者に委ねるわけですが、鹿児島市でも宮崎市でも熊本市でも同じような科学館ができるということは避けたいと考えるならば、こういった地域資源や、我々が鹿児島の子供たちに伝えたいものを明確に委員会の中でも強めていき、その中で織り込んだことを委託業者に伝授できるようにしていくことが、今はやりの旬の物を作ることよりも大切な気がします。

教育長 すごく重要なご指摘だと思います。

事務局（総務課長） いただいたご意見については、検討委員会でもご意見として伝えて、合意形成はかかっていきたいと思っています。

教育長 ほかにございませんか。

委員 コロナの関係で、風を体験する展示や気温の高低を体験する展示など、まだ閉まったままになっているので、リニューアルと並行してそれが動き出して活

用できたらいいかと感じています。てこの原理や振り子の仕組みなどで楽しめる
ところがあり、子どもたちは十分楽しんでいるのですが、その遊びの元
になっている理屈・理論の手掛かりを、大人が説明できるとありがたいです。

教育長 まさに生の声、ニーズです。そのあたりどうですか。

事務局（総務課長） 1点目の幅広い世代については、今回のリニューアルのコンセプ
トにありますように、未就学児から高校生まで幅広く楽しむことができる施設
にしたいということで、委員会の中でも話をしています。ただいまの件も委員
会に伝えたいと思います。展示物の情報量については、科学館からも現在の展
示は見る情報量が少ないのではないかという意見がありますので、次回の展示
更新に当たっては、そのことについても意を用いたと思います。

教育長 そういったことも検討することをお願いします。ほかにございませつか。

委員 先ほどの委員のご指摘は、ソフトとハードが一体だと思つるので、そこを一
緒に基本構想の中に入れていくことが大事だと思います。また、委員から陳腐な
ものにならないようにとのことと、SDGsがでてきたので参考に申し上げます。
最近言われていることは、SDGsは複雑性ということで、これまでの単
独の学問分野をただ学べばいいというものではなくて、学才的なもの、新しい
地を生み出さなければならないし、それをどう習得していくかが1つあります。
もう1つ言われているのは、どんどん自然と離れていくことです。土着地や伝
統地だとか実践地だとかそういったものとの組み合わせでも、科学館はそこ
離れた別世界ではないです。すでに世界が向かおうとしている方向性を見据え
れば、従来のように何か1つの学問史を教えるというよりは、いろいろな掛け
合わせの中で生成されてくるものもあり、あとは生物などのリアルな物と組み
合わせていくようなものがあります。もしかしたら科学館単独ではできなくて、
例えば博物館などのいろいろな施設と融合的なことを構想していかないと
いけないので、大事なことは、基本理念をどう作っていくかだと思います。検討
委員会があるので、このメンバーでの意思決定はいいと思いますが、必要があ
れば利用者のことに関する分科会を作ったり、基本理念についての分科会を作
ったりするなど、少し組織をふくそうさせて作っていくようなことも、ぜひ検
討いただければと思います。

教育長 重要な指摘だと思いますので、我々も検討したいと思います。科学館は図書
館に隣接しているので、こういう環境も恵まれていると思います。今ご指摘の
あったように、自然もたくさん近くにありますので、そのあたり生かせるよ
うにできたらと思います。

教育長 ほかにございませつか。

(なしの声)

～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～ ～

7 その他

教育長 事務局から何か報告がありますか。

事務局（図書館副館長） 市立図書館から報告があります。昨年4月に開館した天文館図書館が先日、来館者100万人を達成し、記念セレモニーを行いましたので、この場をお借りしてご報告します。ちなみに、鴨池の市立図書館もぜひご覧いただければと思いますので、よろしくお願ひします。

教育長 天文館センターの来館100万人をご紹介いただきました。何かこのことでご質問等ございませんか。

（なしの声）

教育長 最後に、事務局から何かありますか。

事務局 それでは、次回の日程についてご連絡します。次回の教育委員会定例会は、6月1日（木）16時から、教育総合センター3階 青年第一・第二研修室で開催を予定しています。以上です。

8 閉会

教育長 以上をもちまして、本日の定例会を終了します。

【以上】